

地域とともにある学校

魅力ある学校づくりを目指して

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 錬磨する人間

2019/8/23 (金) 発行

校長通信 NO.32
北海道日高高等学校
町田 英 謙

第2回適正配置計画会議

7月23日(火)、浦河町日高合同庁舎4階の大会議室において、今年度第二回目の適正配置計画会議が開催されました。日高管内の全町から教育長、小中学校の代表校長、高校の校長が一堂に会して、道教委から確認事項等が提案されました。

開会式の冒頭、日高教育局局長の波岸様より、まず先週土曜日、管内(新ひだか町)で小学校4年生の女子児童が自転車乗車中に起こった痛ましい死亡交通事故について説明があり、今後夏休みを迎えるが児童・生徒の交通安全に関する注意喚起についてお話されました。改めて交通事故の悲惨さを感じております。関係者の方々にご冥福を心からお祈り申し上げます。

今回の会議では、各高校の魅力化や各町の支援体制、意見要望の場の設置等、学校運営協議会(CS)の設立に向けた協議がおこなわれました。高校を配置されている町、されていない町の教育長から様々な実施している方策、今後に向けた対応等が提案され、少子化の児童生徒のため、支援体制や町づくりについて議論されました。

校内生活体験発表大会

7月23日(火)、日高町サンボッケにおいて令和元年度の校内生活体験発表大会が開催されました。

この大会は全国大会まで繋がる全国の定時制高校が参加する大きな大会です。私が赴任した2年間は、全道代表として日勝支部大会で優勝しておりますが、今年度も代表権を獲得した4名の皆さんは、来月に帯広市で開催される大会で素晴らしい成績を残せるよう強く祈念しております。

優勝 3年 菊池万葉さん
『捨くれ者の三年間』

準優勝 2年 田嶋駿一くん
『夜に学校に行くこと』

努力賞 2年 山田康介くん
『ブラシーボ効果』

努力賞 3年 稲葉龍星くん
『日高高校生としての自覚』

全道給食研究協議会

7月26日(金)、札幌北高等学校の同窓会館「彩風館」で、第51回目の全道給食研究協議会が開催されました。

札幌北高校が今年度まで当番校として運営します。次年度からは札幌琴似工業高校で開催されますが、定時制高校の給食に関する諸問題について研究協議で充実を図る目的で実施されています。本校は高校寮で対応していますので、給食ではなく「補食」と言う位置づけです。しかし、基本的な生活習慣である「食育」の分野については大変重要な部分でもありますので、別紙で報告書を作成していますので確認願います。

会長の札幌北高校の校長 宮下 聡様から、人生の心や身体の基本づくりである「食育」は大変重要であり、この時期の栄養不足は貯骨に関して骨粗鬆症になる危険性が高いことを伝え、時代の変化により、定時制高校の給食に関しても、ある県では廃止し、コンビニ等の対応に試験的に

移行したところもあるが、給食は調理員さんや生徒同士、教職員との交流、心と身体を育てる大切な場であるとお話されました。

また、講話では、藤女子大学人間生活学部食物栄養学科教授 村田 まり子様より「給食の役割 ～食の自己管理～」を演題に、食育の大切さ、経費、衛生管理、彩り等の説明を受けました。また、岩見沢東高等学校教頭 松尾 幸広様より、研究発表として岩見沢東高校での給食の実態を紹介していただき、給食の大切さを改めて確認する機会となりました。今回の研修会では、本校生徒の生活を考えると、活動の時間や内容はエネルギーを多く必要とすると思いますので、食育の大切さを改めて認識できました。

夏休みを終えて

今年の夏は、全国でも暑さが大変厳しい日々が続きました。各地域でも記録的な気温の高さで熱中症で命を落とした方が80名を越えました。心からご冥福をお祈り致します。北海道でもまだ残暑が厳しい日々が続きますが、くれぐれも心身ともにご自愛ください。

さて、25日間の夏季休業期間、大変ご苦労様でした。生徒達も全国各地の故郷へ帰省し、有意義な時間を過ごしてくれたことが何よりです。

教職員の皆様におかれましては、本校の長期休業は生徒が誰も居ない状況ですので、ゆっくりと家族との対話や、自分の趣味に没頭し、心も身体もリフレッシュできたのではないかと思います。

さて、8月20日(火)より2学期が始まります。この学期は、今週末におこなわれる産業学習と合同の登山をはじめ、生活体験発表日勝支部大会や見学旅行(10月7日～11日)等、大きな行事が目白押しです。また、3年生の進路決定の大切な時期でもあります。教職員(高校・産学)が一丸となって、生徒が素晴らしい成果を発揮できるよう、協働体制で対応していきたく思いますので、よろしくお願い致します。

生徒については、それぞれの地域に帰省し、色々な体験でひとまわり大きくなっていることを心から祈念しますが、産業学習・高校・高校寮での生活習慣に慣れるまでは、少々時間がかかると思いますので、生徒の心身を学校モードに戻すため、今月いっぱい注意を払っていただきたいと思ひます。

今後、北海道の気候も落ち着いて過ごしやすい日々が続きますが、自分と向き合い将来の展望を持ち、その目標に向かい日々生活していく事が、生徒一人ひとりの自立と自律に大切になりますので、細かな支援と指導の充実につきまして重ねてご指導をよろしくお願い致します。

最後に、元号が令和となり全道の学校関係者も母校で努力を重ねておりますが、相変わらず信用を失墜する事故が絶えません。改めて教育公務員として、次の内容を確認お願い申し上げます。

- 1 飲酒運転などの交通違反・事故防止について
- 2 わいせつ行為の防止について
- 3 体罰の防止について
- 4 公務員倫理の保持について
- 5 個人情報紛失の防止について
- 6 窃盗、金銭事故の防止について
- 7 政治的中立性の確保について
- 8 適正な勤務時間の管理について
- 9 ハラスメントの防止について